



# SESERAGI—MISHIMA ROTARY CLUB WEEKLY REPORT

クラブ  
週報

2023～2024年度 RI会長 ゴードンR.マッキナリー  
RIテーマ 世界に希望を生み出そう

クラブテーマ「芽生えた双葉を育て、希望の花を咲かせよう！」

会長 岡良森 幹事 篠木喜世

## 第1558回例会 2024.3.1(金)曇

司会：鈴木俊也君

ロータリーソング「奉仕の理想」 指揮：高村勝則君

事務所 三島市泉町9-8 1F南  
TEL.055-976-6351 FAX.055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.gr.jp>

せせらぎ三島ロータリークラブ

検索

例会場 呉竹

TEL.055-975-3210

毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

### 会長挨拶

会長 岡良森君



先週行われましたインターシティミーティング、大成功と言えるのではないのでしょうか。相当の時間を掛けて準備に関わったすべての方に改めて感謝申し上げます。会の講評につきましては本日ゲストでお越しいただいております稲葉ガバナー・ミニーからいただければ幸いです。

先程まで、理事会を開催させていただきました。この先の諸行事に関する事、それに伴うプログラム変更に関する事などを協議し決定をいたしました。

当クラブとして、秋のクラブ総会では皆さんから承諾いただきましたインターアクト事業についてですが、地区内での認証、規約細則の改正、先方(田方農業高校)との擦り合わせなど詰めなければならぬ課題の他、この活動そのものを会員がより理解するためのフォーラムの開催を行いたいと思います。短い期間での準備になりますが皆さんのご協力の程お願いします。実施に向けた実行委員会を立ち上げることが理事会で承認されましたので早速取り掛かることとします。また、来週の卓話予定者の大川君のご厚意でプログラムの変更を快諾いただきましたので来週の卓話時間は、インターアクト関連と一部35周年関連の卓話とさせていただきますのでよろしくお願ひします。また、35周年事業として予定しております”地球のステージ”公演につきましては、公演当日の各会員にお願ひすべく役割分担などを時間割と共に鋭意作成しております。週明けには会場の使用に関するレクチャーを5～6名で受けてくる予定です。場合によっては例会日以外で実行委員会の開催が必要になるかもしれませんのでよろしくお願ひします。

新会員成田さん、先週のから揚げ弁当美味しかったです。皆のIMのエネルギーチャージになりました。今日はこの後歓迎会ですね。楽しみましょう。

本日の”乗り鉄”ネタは、SDGS関連です。JR貨物が所有している機関車です。電気機関車とディーゼル機関車があります。機関車の実力は、どれくらいのパワーがあってどれだけの荷物を一度に運べるかということですので高性能の機関車の話で済むわけですが、今日は、そこから派生する物流を考

えてみたいと思っています。“桃太郎”EF210は、日本貨物輸送のエース機種です。東海道線も走っております。一度に1300tの貨物をけん引する能力があります。最初に運行された岡山機関区で愛称を募集し名前が付けられました。一度に1000t運ぶとして、10tトラックだと100台の車両と運転手が必要ということになります。ネットなど注文すると翌日には手元に届く便性を追求すると弱点が見えてくる鉄道貨物ではありますが、私たちの暮らしに対する考え方を少しだけ見直すことで環境に優しい物流が復活するかもしれませんね。

ようこそせせらぎ三島  
ロータリークラブへ

稲葉雅之君(ガバナー・ミニー・伊東西RC)

小川嘉洋君(次々年度地区幹事・伊東西RC)

### 出 | 席 | 報 | 告 |

	出席総数	出席率	メイクアップ	修正出席率
前々回	33/38	86.84%	33/38	86.84%
今回	32/38	84.20%	会員総数	40名

欠席者 あなたが見えなくて残念でした。

石井(和)君、大庭君、篠木君、杉橋君、矢岸君、山口(雅)君  
(\*出席免除会員の欠席者 遠藤君 片野君)

IM実行委員会

委員長 加藤正幸君

半年にわたって準備から当日までみなさんのお力を頂き誠にありがとうございました。大成功でやり遂げることができましたね。伊丹君・鈴木君・田村君・山口雅君各委員長様、大変お世話になりました。服部君にはすべて取りまとめ役さすがでした。有難うございました。そして何よりお骨折り頂きました米山ガバナー補佐リーダーシップ最高でした。本当にお疲れ様でした。まだ最後に報告書の作成があります。35周年記念作業と重なりますがお願い事ばかりですがご協力をいただけると助かります。

## 卓話

土屋和彦君

ロータリークラブ3年目にあります土屋和彦です。よろしくお話しします。今回のテーマは建設業について自分なりの話させて頂きます。私は建設業に携わって30年になります。きっかけとしては、給料の多さでしたその頃1人工1万5000円手と足があれば良いと言う時代でした。高卒での給料が手取り15万に比べ建設関係の同級生は、手取り30万円ももらっていました。確かに土曜 祭日は、仕事で出勤日数は多かったからだと思いますが、お金を皆さん持っていても車も高級この様なあざやかな考えで建設業に入りました。まず初めての仕事は、建物を壊す解体の仕事で私は人材派遣作業員として仕事しました。初めてのダンプトラックがかなり古い車(50年前)でハンドルはオモステ、ダブルクラッチをしなければギヤが中々入らない直ぐにエンストをします。この様な車に積載オオバー当たり前 山の置き場か、処分場かわからない所で燃やして処分たまた、右翼街宣車に付け回され今までは考えられない様な仕事を見て来ました。けれども解体屋の社長は、従業員(自分を含め)手厚く面倒を見てもらいました。仕事が終われば毎日作業報告と言う酒盛りが始まり午前様になるのも少なくなかったです。この様な環境での仕事をする中で友達である田村君が不動産業をはじめた、しかも儲けていると言うので、話を聞きに行きました。優しい田村君は丁寧な対応で話をしてくれました。宅地建物取引士として自分で稼いでいる事をしり、私も挑戦しようところさしました。まずは、資格を取らなければならぬと言う事で日建学院に通う事になりました。小中高と勉強をしなかったためまずは、漢字が読めない言葉の意味がわからない本当にちんぷんかんぷんでした。学院の授業は、ビデオ講師による授業で週3回の2時間ビデオ授業、その後復習によるテストを受けて次の授業の日に教室に順位と点数が公開され恥ずかしい思いもしましたが、同期の方々に面倒を見てもらいどうにか内容が分かるようになりはじめましたが、その頃の昼間の仕事が結構ハードで店舗やホテルの改修工事が多くビルの中でコンクリートの壁を壊す仕事やこわれたコンクリートの塊をひたすら袋に詰め階段を何往復も運ぶ作業しかも昼夜関係なく大体新しく入った人は、2日持たずに辞める方が多くいましたが私は、体力と根性だけは人並み以上(ゴリラ)並みでしたので、きつけれども楽しく競い合っただけで作業をしていました。けれども私の中で一番まずい(死ぬ)とおもった出来事が東京渋谷で店舗改修工事の応援での作業中他の部隊の方がパイプを切断するため酸素切断機を使用して切断をはじめた管が都市ガスの配管で酸素切断機の火で引火、物凄い勢いの火柱これはまずい命の危険を感じ避難をし、大惨事にはなりませんでしたが今考えて見るとずさんな管理体制だと思います。昼間は、肉体労働夜は学院での勉強、3ヶ月しか続きませんでした。宅地建物取引士の試験は2回受けましたが不合格。不動産業はあきらめて建設業(肉体労働)で頑張ろうと決めました。そこで1人親方として多数の会社に応援作業員としてお金を稼ぐ時代もありましたが、しょせん応援作業員運搬作業や手元作業等せっかく物作りをする業界なのこと思い当時父親が工務店で働いた会社の基礎工事や外溝工事を請け持っていた鷹の親方の所に修業に行きました。昔かたぎの親方で、朝は、置き場に6時集合現場作業は、親方が終わるまでと時間関係なく働いていましたが根性と体力だけは、自身がありました。親方は、釣りが好きで海の近くの現場では、仕事が終わればいか釣りやたち魚釣りその後酒盛りと厳しさもあり優しさある人情身ある親方でした。けれども昔の仕事の教え方としては、仕事は見えて覚える教わり、けれどもただ見ているだけだと怒られどうすればよいのかその頃は、悩みましたが手に職を身につけると言うことは稼ぐ手段で、甘いことではない。石の上にも三年と言う言葉がありますどんなに辛くても辛抱していれば、やがて何らかの変化があって、好転の芽が出てくると言うことです。屋外で働く方々は、四季や天候に左右されやすい近年では夏の猛暑雨風に耐えながらの作業(修業)や、現場経験が

手に職を身につけ自信につながるということだと思います。年季が明け自分が親方としてはじめましたが人を扱うのは、難しく力づくみみたいなやり方では、人はついてきてくれませんでした。そこで先輩に相談をしました。山本五十六と言う偉人の言葉で、やって見せ言って聞かせてさせてみせ褒めてやらねば人は動かじ 話し合い耳を傾け承認し任せてやらねば人は育たず やっている姿を感謝で見守って信頼せねば人は実らずと言う名言があるよと、教えてもらい本当にその通りだと思いました。住宅店舗の基礎工事外溝工事を15年位やりました。色々なお施主様がいきました。こんな若造で大丈夫とか一緒にやって工事をしたこともありましたが皆さん良い方で10時15時の休憩やお昼ご飯まで出してもらいきつい仕事の中でも喜びと感謝でした。今では、あまりやりませんが上棟式では鷹頭言う役名でご祝儀が出ます。1番貰った金額が5万円でした。公共の仕事もするようになったため資格取らなければならぬ。まず最初にとったしこくは、2級土木と2級建築施工管理技士と2級舗装管理技士の資格です。宅建以来の勉強どうにか合格しましたがまだ山ほど取らなければならぬ資格と作業主任者資格があります。私の資格としては1級土木施工管理技士 2級土木 2級建築施工管理技士 2級舗装 給水装置工事主任者 排水設備工事主任者。作業主任者としては地山掘削及び土止め支保工 型枠支保工 足場組立作業主任者 熱中症予防管理者 刈払機取扱作業主任者 伐木等特別教育 玉掛け。建設機械免許としては、車両系バックホウ 高所作業車 3トン未満移動式クレーン ローラーなどの資格を持っています。無免許だと作業者はもちろん、事業主にも罰金が適用されます。6ヶ月以下の懲役、または50万円以下の罰金が課せられます。危険を伴う仕事のための資格取得が、必要でかなりの出費になります。建設業は代表的な3K仕事だとされてきました肉体労働が中心で、汗や土まみれ、時々は命の危険を伴う仕事です。3kとは、バブル期である1980年代頃から使われ始めた言葉で、きつい 汚い きけんという3つのKを合わせたものです。労働環境の悪さを表すために使われ、3kの仕事まきつて汚くて危険な仕事ということになります。そのため、特に若い求職者から敬遠され、せっかく就職しても長続きしないことが増えました。結果として、現在の建設業界は高齢化が進み、深刻な人手不足におちいついてしまっています。建設業における雇用管理現状把握実態調査(令和元年度)によると、常用の若年技能労働者があまり定着していないと回答した企業において、定着しない理由の1位は作業がきつい(42%)でした。2位は若年技能労働者の職業意識が低い(32%)でした。要するに、少なくない企業が定着しないのは若者の意識が低いからだと考えているわけで、この様な状態では定着するはずがありません。むしろ意識が低いのは業界側で、働きやすい環境の整備に消極的であるかため、若者離れを加速させていることがうかがえます。もしいつまでも3kを改善できなければ、建設業の人手不足はさらに深刻化し、土木工事の担い手もなくなり、重要なインフラすらも整備出来なくなります。つまり社会が成り立たなくなってしまう。建設業界は、何となく3kから脱却しなければならぬ時が来ていると思います。若者を増やすために国や建設業界も動いて新3k給与 休暇 希望を合わせたもので、十分な給与がもらえて休日も取得でき、将来の希望が持てる業界にしていこうという取り組みだそうです。今現在の建設現場では、ICT工事ICT工事とは、GPSを使ったドローンによる3次元測量やICT機械による施工私もITC工事を経験しましたが率直な意見としてゲームのような感覚重機も自動運転管理も携帯電話でそうしんこれからの若者たちは面白いのでは、ないかと思います。建設業は大分進化をしていますけれども、はり人の作業がなくなる事はないと思います。

今年1月1日におきました能登半島地震や他の災害等最近では、異常とも思われる災害が多くありますが建設業者の方々によって復興元の生活に戻す重要な仕事だと考えております。国際ロータリー会長のテーマであります(世界に希望を生み出そう)若者が希望を生み出せるような環境の整備を次世代に引継ぎが出来るように変えていければ良いと思います。



## スマイルボックス

伊東西RC稲葉雅之君・小川嘉洋君：すばらしいIMをありがとうございました。本日もお世話になります。

大川泰君：皆様、IMお疲れ様でした。楽しい事業でした。必ず何か次に繋がると思います。その時は又チャレンジしましょう。3次会であまったお釣りをスマイルします。

土屋和彦君：卓話よろしくお願ひします。

中山和雄君：先日はお疲れ様でした。岡年度も残り4か月となりました。元気よく！

加藤正幸君：IMお疲れ様でした。皆様のお力をいただき大成功でしたね！一段と周りから注目浴びますね。それから、パッケージプラザカトウでは3月5日より春のビッグセールやります。ぜひご利用ください。

高村勝則君：IMお疲れ様でした。良い経験となりました。スマイルします。

山本良一君：IM大成功おめでとございます。準備をされた皆様、大変お疲れ様でした。

石井司人君：IMご苦労様でした。最高の評価でしたね。仲原実圭君2月25日のIMはご協力ありがとうございました。事務局よりお礼申し上げます。

原兄多君：先日のIMはありがとうございました。ガバナー補佐事務局として一山超えた感があります。

杉山寿美子君：IMお疲れ様でした。みしまるこちゃんを着ての農平節、閉めの挨拶・・・全てが良い経験となりました。又、末っ子の高校卒業式、朝から涙で始まりました。息子の感謝の言葉にグッときました。

藤川智徳君：本日早退させていただきます。和彦君、美幸さんごめんなさい。

三輪暁生君：認知症アドバイザーに合格しました。ご相談お待ちしております。

加藤貴康君：IMお疲れ様でした。さて、細野豪志代議士が出演するラジオ番組があり、本日のゲストとしてお招きいただきました。テーマは「政治」と「お遍路振興」の2つで、伊豆のお遍路のこと、振興の目的、取り巻く環境や組織化の経緯などたっぷりPRできましたのでスマイルします。

渡邊仁也君：明日は息子の高校の卒業式、シングルファーザーとして5年目、一つの節として自分自身にスマイルします。

岡良森君：Dテーブル会ありがとうございます。Bテーブル：2月22日(木)にテーブル会を開催しました。35周年記念事業、式典、インターアクト等について会長からお話を伺いました。残金をスマイルします。



## 3月度理事役員会

日時 令和6年3月1日(金)18時00分～18時30分

場所 呉竹(例会場)

出席者 岡会長、仲原副会長、小林パスト会長、土屋和、藤川、大村、田村、鈴木、野村、原、山口パスト会長(オブザーバー)、伊丹(〃)

### 議事録

1. 会長挨拶(岡会長)

2. インターアクト検討委員会の立ち上げ(伊丹青少年奉仕委員長、岡会長)

別紙①により説明

小林・仲原・・・インターアクトについて全メンバーに周知することが必要

長期的な事業となるため全メンバーの協力が必要である  
→ 3月8日および4月12日例会時(卓話)において説明する

→ 一同賛成

3. 35周年関連(山口実行委員長、藤川職業奉仕委員長、野村社会奉仕委員長)

①記念事業「地球のステージ」

・・・別紙②のとおりスケジュール、募集中

3月29日からパネル展示

②記念碑清掃活動・・・4月21日に実施予定

・・・メンバーに案内する

③記念式典・・・内容や役割分担を3月8日例会にて発表したい

4. プログラム変更

3月8日卓話を大川君から35周年事業・インターアクト説明に変更

4月12日卓話をガバナー補佐訪問から35周年事業・インターアクト説明に変更

→ 一同賛成

5. 委員会報告

親睦活動委員長・・・春の家族会について

## おめでとう

会員誕生日 3月5日 渡邊仁也君

入会記念日 3月3日 三輪暁生君



